

猫が庭などに入らないようにする方法

猫が庭や花壇・畑に入り込み糞や尿を撒き散らしているのは、周辺のどの場所よりもそこが猫にとって快適な場所だからです。猫が来ないようにするには、その環境を変えて、猫が嫌がる環境にすればいいのです。

(注) 個体差もあり、あまり反応しない猫もいます。また、方法により、効果が長続きしない場合や猫が慣れて反応しなくなる場合があります。

○忌避剤（猫が嫌がる臭いや刺激性によって、猫が近づきにくくする）

雨や風などで効果は徐々に薄れてきますので、定期的に交換してください。

猫が臭いに慣れてくると効かなくなりますので、同じものを長期間使用するのでなく、時々種類を変えて下さい。

臭いがきついものや色が付いてしまうものがありますので、あらかじめ近所の方に説明しておいてください。

対 策	使 用 方 法 ・ 参 考 事 項 等
木酢液・竹酢液など	園芸用肥料としてホームセンター等で販売されている。 希釈して、散布するか、容器に入れたスポンジや布に浸み込ませて置く。
市販の忌避剤	忌避剤（ペットショップや薬局、ホームセンター等で販売されている。）を撒く。
みかん等柑橘類の皮	柑橘類の皮を撒くか、目の細かい網の袋に入れて吊るす。
漂 白 剤	塩素系漂白剤（ブリーチ、ハイター等）を希釈して容器に入れたスポンジや布に浸み込ませて置く。
におい系のミックス	木酢液、レモンバームの葉、唐辛子をミックスし、1～2日寝かせてから散布する。
煙草の吸殻の浸し液	煙草の吸殻をほぐしてから水に浸し、その液を散布する。
コーヒー粕・茶殻	コーヒー粕やどくだみ茶などの茶殻を撒くか、目の細かい袋に入れて吊るす。
どくだみの葉	どくだみの葉をつぶしたものを撒くか、つぶした汁を散布する。
カレー粉等香辛料	カレー粉等の香辛料を撒く。
唐 辛 子	細かく刻んで撒くか、目の細かい網の袋に入れて吊るす。
生ニンニク	細かく刻んで撒くか、目の細かい網の袋に入れて吊るす。
玉 ね ぎ	バラバラにして撒く。
米のとぎ汁	とぎ始めの濃い汁を散布する。
重 曹	撒いたり、土に混ぜ込んで、猫の臭いを消す。
正 露 丸	掘り返される場所に数個埋める。
フェリウェイ	なわばり本能を利用したホルモンで、近づけたくない場所に散布する。 (動物病院で購入可能)

ハーブ類を植える	猫の嫌がる臭いのするハーブ類を植えるか、鉢植えを置く。 (ランタナ、ユーカリ、ゼラニウム、ヘンルーダ、ローズマリー、レモングラス、柑橘類、ペパーミント、玉ねぎ、ニンニク、チャイブ、マリーゴールド、カニナハイブリッドなど)
----------	---

○構造物（猫が嫌がるものを置くことによって、猫が来ないようにする。）

対 策	使 用 方 法 ・ 参 考 事 項 等
水 を 撒 く	ホースでたっぷり水を撒いて地面を十分湿らせる。(猫は水を嫌うため、ぬかるみは嫌がる。)
砂利を敷く	足元が不快に感じる。
大きな石を置く	物理的に歩けなくする。
枯れ枝を敷く	特にトゲトゲした枝が足元が不快に感じる。
松ぼっくりを敷く	足元が不快に感じる。
トゲのある植物を植える、 トゲのある葉を敷く	カラタチ、バラ、サボテン、ヒイラギ、ビラカンサ、ユニファーなど
地面を被う植物を植える	日当たりのよい場所：タイム、ヘリクリサム、ビオラ、オランダイチゴ、ケンタッキーブルーグラス、ブルーフェスク、リボングラス、レモングラス、ゼラニウムなど 日蔭の場合：アイビー、ツルニチニチソウ、斑入りカキドオシ、ラミウム類など 植物が10～30cmくらいの高さに繁っていると、猫は茂みの中に入っていない。茂みはできるだけ高く、蜜に茂ることが望ましい。 柔らかかそうな裸の土も見せないように。 ハーブ系、柑橘系の植物の方が効果が期待できる。
卵の殻を撒く	荒く砕いて撒くと、肉球が刺激されて不快に感じる。
トゲ状シートを敷く	飛び越えられない幅に敷く。(ホームセンターや園芸店等で販売されている。)
灰などを撒く	園芸用の灰や石灰を撒く。(ホームセンターや園芸店等で販売されている。)
目の細かい網を敷く	爪が引っ掛かり、歩きにくい。
ネットや柵をする	猫が飛び越えられない高さ(2～3m)が必要。

○猫が来たときに追い払う

猫は愛護動物ですので、虐待に当たる行為をすると法律で罰せられます。

対 策	使 用 方 法 ・ 参 考 事 項 等
水鉄砲など	姿を見せてすると、人がしていることが分かるため、不在時に侵入するようになる。
センサー感知式 散 水 機	ホームセンター等で販売されている。
センサー感知式 ブ ザ ー	
センサー感知式 超 音 波	